

日常に溶け込むスタイリッシュな「SETTA」を世界のスタンダードに

株式会社 DESIGN SETTA SANGO デザイン セッタ サンゴウ 奈良県生駒郡三郷町

■鼻緒のある履物を現代の日常に取り戻す

奈良県三郷町は、草履や雪駄などの履物製造業が盛んな地域として100年以上の歴史がある。株式会社 DESIGN SETTA SANGO は、そんな伝統産業の栄える町で新たな取り組みを展開している。代表取締役社長の星田和彦氏は、自身が経営するカフェ「CAFÉ FUNCHANA（カフェファンチャーナ）」で2013年、鼻緒製造業の「侘寂び屋」と共同でオリジナルの雪駄を展示販売するイベントを開催した。予定数が即完売するほどの人気を博し、「今後さらに地場産業である雪駄の魅力を世界に伝え、鼻緒のある履物を現代の生活に取り戻したい」と2015年7月、同社を設立した。

■履き心地とデザイン性を追求した「SETTA」

通常、雪駄と聞くと和装をイメージする人が多いが、同社の雪駄は和装にはもちろんデニムやスカートなどカジュアルな装いにも合わせやすい。日常の中で気軽に履けるようデザインされており、同社は新しい履物「SETTA」として提案している。SETTAは、履き心地とデザイン性を2本の柱とし、職人による高度な技術と手間をかけて作られている。そのため、従来の雪駄に比べ、作るのに10倍の時間がかかるという。

履いていて気持ちの良いSETTAのこだわりは、①通常のものより丸みを帯びて太く、履く人の形にフィットするため痛くなりにくい鼻緒。②麻やパナマなど通気性に優れた素材を使用し、足裏のクッションが気持ちの良い履き心地の天。③衝撃吸収に優れ、膝への負担を軽減する素材を使用した底。フローリングを傷つけないため、室内履きとし



ても使用可能。④履いていくうちに、その人の足の形に合うように作られている手縫いの前坪。特に鼻緒には、ヨーロッパのビンテージ生地を使用したものやテキスタイルデザイナーとコラボレーションしたものなどがあり、1つとして同じものがないという特別感がSETTAをさらに魅力的なものにしている。

■SETTAを世界のスタンダードに

イタリアのミラノで開催された「JAPAN DESIGN WEEK」へ2017年から2年続けて出展。海外では、ルームシューズとして利用する人が多く、職人が創り出す、美しく履き心地の良いSETTAは好評だという。今では、新聞や雑誌、テレビ取材など数々の国内メディアにも取り上げられている。今年6月には、鼻緒の部分に奈良県の世界遺産「正倉院」の宝物に描かれている天平模様をあしらった『TEMPYO「天平」』の予約販売を開始した。「地域の人達が誇らしくなるブランドとして、日本だけでなく世界でSETTAがスタンダードになっていけば」と、星田社長の挑戦は続く。

(村井 渚、八木陽子)



イタリアミラノでの展示会の様子



6月より予約販売を開始した『TEMPYO「天平」』

株式会社 DESIGN SETTA SANGO

〒636-0822
奈良県生駒郡三郷町立野南1-24-5
TEL: 0745-27-4574
FAX: 0745-73-1187
URL: <http://www.designsetta.jp>



星田和彦社長